

キラットさん

BE AMBITIOUS

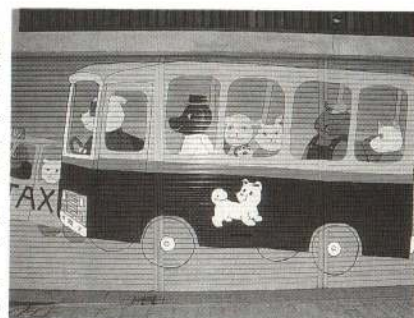
大館鳳鳴高校3年

深井真澄さん



今回のキラットさんは鳳鳴高校美術部部長の深井さんです。同校の美術部は、昨年の暮れに大町通りの空き店舗のシャッターをキャンバスにして絵を描いたことで話題になりましたが、そのときの指揮を執っていたのが深井さんでした。

学校を通じて大町商店街振興組合から依頼があったとき、鳳鳴展の準備などで忙しかったことから、一度は担当の先生に断ったものの、校長先生の勧めもあり、最終的に引き受けたとのこと。二学期末から冬休みにかけた寒い時期、外での作業でしたが、約十日間で完成させました。「部員八人、みんなの協力なくしては、あの寒い中頑張



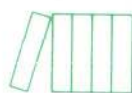
▲シャッターに描かれた絵の一部

り通せなかったと思います。本当にみんな良く頑張ってくれました」と、部長として部員をたたえることを忘れません。

振興組合からは「犬を入れた絵を描いてください」とだけ言われたのですが、引き受けたからには立派なものを描きたいというので、部員全員でコンペを開いたところ深井さんの作品が選ばれ、現在描かれている絵に決まったとのことでした。

「周りから『素敵』と言われるし、後々まで残るので、つらかったけど引き受けて良かった」と完成後の気持ちを笑顔で語ってくれました。

将来は美術系の大学に進学し、絵に関係する仕事に就きたいという彼女。持ち前の明るい性格でぜひ夢をかなえてもらいたいものです。



私の本棚

中央図書館新着図書



『はるか戦火を逃れて』

中屋敷 郁子 著

講談社

去年の八月、ボスニアの戦火を逃れ、ふるさと岩手県一戸町へ帰った中屋敷郁子さん。家を追われ、夫を失い、幼い三人の子どもを抱えながら、焦土と化した地で彼女が見たものは……。



一般書

◇神戸震災日記(田中康夫) ◇消費社会批判(堤清二) ◇大空港25時(鎌田慧) ◇お湯まわりのはなし(鎌田元康) ◇円高亡国論(佐藤隆三) ◇ダスピダーニヤ、わが樺太(道下匡子) ◇月の裏まで走っていった(雨森零) ◇夫の始末(田中澄江) ◇夕方らせん(銀色夏生)

児童書

◇豚の報い(又吉栄喜) ◇名探偵の掟(東野圭吾) ◇前世の記憶(高橋克彦) ◇中間航路(チャールズ・ジョンソン) ◇悪戯上・下(エド・マクベイン) ◇神の鉄槌(アーサー・C・クラーク) ◇モンスーン(ライアル・ワトソン) ◇手話の世界へ(オリバー・サククス) ほか
◇まねやのオイラ旅ねこ道中(森山京) ◇たったひとりの伝説(斉藤洋) ◇ヒッココスでひっこす(矢玉四郎) ◇しっかり生きるんやでエンちゃん(藤澤昇) ◇春待つ家族(イブ・バンティング) ◇画用紙の中のほくの馬(ウィリアム・H・ハーディング) ◇トゥーレのたまねぎ(ティードホルム) ◇にじいろのさかな(マーカス・フィスター) ほか

4月のテーマ関連図書コーナー

『手紙を書く』

4月の親子読みかかせ会

5日(毎月第1金曜日)

14時30分～

中央図書館4月の休館日

21日、25日、29日

